

たく(炊く) タイテクレマシヨッタ 中・小山
 たーべてヤー(食べたい) 食用蛙ノ御飯マッペンターベテヤー

西・鈴木

てんこもり(御飯を山盛りにする) 村・秋田、東・岩田

とごる(魚の煮汁が煮こごること) 中・角田

アー、トゴッタトユーギヤア 日進・福岡

なまぐさいもん(肉、生魚類) 三十五日カ四十九日スムマデハ、な

まぐさいもん食ベラレン 守・酒井

にゃあええもんだで(煮ればいいのだから) 村・秋田

ぬか(もみがら) 港・高羽、東・岩田

ぬくとめる(暖める) 川・風岡

ねさせる(麴をそのまま一晩くらいおいておくこと) ヒトヨねさせ

テク 村・秋田、東・岩田

ののさまのまま(仏様の御飯。昔、大地主の玄関先や庭で小作人の

空腹な者たちが御飯をよばれた。その時の御飯をいう) 村・伊藤

はげる(煮テモバチットはぜんノ、オ米ガネ) 中・永井

はなをとる(麴のかびをとる) 村・中田

はらがふくれた(満腹になった) 東・岩田

はらわた(魚の臓物) 港・高羽、東・岩田

(まくわうりの中に種と一しよに入っているもの) 中・角田

ひがきた(お酒が悪くなる) 村・中田

ぼしぼし(おからが口の中に入った時の感触) オカラハワリヤーニ

サラサラシトッテネ、ぼしぼしスルンデスワ 川・丹羽

ほとびる(のびる) ウドンガほとびテマウデ、ハヨ食ベナアカン

港・高羽

みゅーて(剥いて) 皮みゅーテソーヤツテ食ベタモンデス 東・平野

むす(茹る) ウドンヲむす。守・余語

料理しにいく(ごちそうになる) 「料理ガイイデシヨ、アツチハ」

「料理しにいくダニヤー、シャベリニ行ツタダケデ」 川・奥村

わりご(割籠弁当。御飯とおかずが仕切のしてある楕円形の入れ物

に入っている弁当。とりこみの時にたのむ) 守・酒井、村・秋田

あんもち (おはぎ) オハギハあんもちトモイマスケド 中・角田
 だいふくもち (内にあんがつく) 東・木内

よもぎもち (草餅) 港・高羽

よつおり (小麦粉で焼いた菓子、丸形で平たく、それを四つに折ってから焼いた。薄茶色) 川・奥村

3、食生活・食文化一般

あじない (おいしくない) 西・浅野、南・鬼藤、東・岩田、北・高柳

コノオカズあじないナモ 北・高木

あぶらこい (油っこい) 北・高柳、西・浅野

あまたらこい (甘すぎる) 西・山田、熱・成瀬

あまたらしい (甘い) 西・山田

cf. あまったるい (甘えたような) 東・長江

あみゃー (甘い) あみゃー砂糖が入レタルデ 川・奥村

いからこい (いがらっぽい) 北・高柳、南・鬼藤

いちばんなり (西瓜の一ばんなりは皮があつい。盆時分になると皮

がうすくなる) 日進・福岡

いる (煎る。火であぶる) 村・中田、東・岩田

いろむ (色む) 西・浅野、山田、南・鬼藤

コノ柿モーヒャーいろんデマットルガネ 北・若林

アキヤーヤツカ、いろんデカ 日進・福岡

うでる (茹る) 西・浅野、村・秋田、名・吉川、中・小山

ササゲハ味噌アエトウでテシヨールガダマリデ食ベル 天・庭瀬

りみゃー (旨い) ダイユハダイユオロシスルトウみゃーワナモ

東・大橋

えげる (飽きる) アンマリギョーサン食ベルトウマイモンデモえげ

るワ 東・伊藤

おそなえ (仏様に供えるもの) 東・岩田、村・秋田

おとき (お寺の報恩講の昼の会食) 村・秋田

おぶつさん (御飯を供えること) 守・酒井

おみき (御神酒) 港・西川

およばれ (よその家へごちそうに行くこと) 守・酒井

おわん (御飯を入れる木の椀) オ茶碗ハセトモノデスワナモ 中・角田

かみのおさがり (神様にお供えしてあった物をいただく。餅投げは

それに因んだ行事) 守・河村

ごじごじ (生煮えなこと) ソレハマダごじごじデ 東・鈴木

こしらえる (作る) 盆ニハオ寿司ナンカこしらえタネ 守・余語

ごねごね ワキヤーヒトハごねごねシタモノ食ベナサルデ 千・浅野

こめをかす (米を炊く) 東・岩田

ごつつおう (ごちそう) 川・風岡、南・鬼藤

こわい (固い) 青ダツハこわいノデ食ベルン。天・庭瀬

チョットコノヒジキこわいネ 千・横井

こわなる (固くなる) 皮ガこわなるデカンワ 北・若林

すっぱい (酢い) 北・鈴木

ぞーもつ (魚の内臓。ハラワタともいうが、ハラワタは瓜の中の柔

かいものもいう) 中・角田

だめめん(ラーメン) 南・鬼藤

たーらがし(おこしの菓子)袋ニターラガシナンカ入レタワ東・平野
だいこおろし(大根おろし) 東・大橋

だつあえ(ずいきを酢につけてあえる) 中・角田

たつくり(おせち料理の一つ) 村・秋田、東・岩田

たまり(たまりしょうゆ) 村・中田、東・岩田、川・風岡

カツオデ味デヤーテ、タマリチョット入レテ 東・加藤

たまりめし(しょうゆ御飯) 青ダツハカラキヤートイテ卵ヲトイテ

味ツケテ、たまりめしニスル 日進・福岡

ちち(牛乳) チチノンデユ 南・今枝

ちちや(牛乳屋) 東・岩田

ちち(母乳) ちちが足ラナンダデ、牛乳ワカシテ 中・角田

つけもん(漬物) 名・吉川

とごり(煮ごり) とごりハオイシイナ、コンニャクハナランナ

モ 中・角田

どぶ(どぶろく酒。一ぱい屋さんで売っていた。どぶを白うまとい

う商標でよぶ。中川区富田町の戸田でできた。) 東・木内

どぶろく(どぶろく酒) 港・西川

とん(豚肉) 東・長江

なすなぎゃあ(なすな粥、正月七日に食べる。) 日進・福岡

なづけ(菜漬) 普通ノ菜ツパ漬ケヲなづけッテユーンデスワ 川・丹羽

にまめ(おせち料理の一つ) 東・岩田

ば(馬肉) 東・長江

はこずし(押鮓。はえやもろこなどを上にのせて木の箱の中に入れ

押さえつける) 村・秋田、東・岩田

ひきずり(すき焼) 川・風岡

ピスケット(ピスケット) ピスケットハ何様シカ食ベサセテモラエ

ンデ 村・伊藤

ひや(燗をしたまま飲まずにおいて冷めた酒) 港・西川

(燗をしない冷たいままのお酒) 東・岩田

ひりょうず(がんもどき) 千・安井

ふかしまんじゅう↓まんじゅう(饅頭)

ぼーだら(おせち料理の一つ。人蔘と一しよに鱈を煮る) 村・秋田

ぼたもち(おはぎ) 千・安井

まきずし(のり巻。中に干びょう、めじろ、しいたけ、ほうれん

草、卵焼きなどを入れて巻いた寿司) 村・秋田

まぜごはん(五目飯) 名・吉川

まんじゅ(饅頭) まんじゅノミツクリヤーハ出シナサル 東・平野

ふかしまんじゅう(とうもろこしを粉にしてメリケン粉とまぜパ

ンにしたもの。ふかしパンとも言った) ヤッパシミンナソソナ

ふかしまんじゅう作トリマシタ 東・水野

みやげだんご(米の粉で作ったみたらし団子のようなもの) 盆ノ時

ニハみやげだんごヲ作ルヨ 守・余語

めし(御飯) トゲガササッタ、めしノンダレー 村・山森

もち(餅)

あんころもち(外にあんがつく) 東・木内

おさつ (薩摩芋) オサツノ蒸シタノ食ッテキヤー 東・大橋

おしきせ (晩酌) 南・鬼藤、川・風岡

おしたし (ほうれん草のお浸しなど、茹でてしょうゆをかけて食べる) 村・秋田、熱・成瀬

おじや (雑炊) 東・木内、中・前田、村・山森、大須

キヨーハエライ寒イデオジヤデモスルダワナ 東・谷口 (おじやはちょっとかつちりしたもの。箸ですくって食べる。ぞうすいはたらたら。すするだけ) 日進・福岡

おぞうに (雑煮) ナツパガ入ッテ、タマリデ煮タノガおぞうにダワ

ナ。切餅ヲツカウ 村・山森

おそなえ (仏様に供えるもの) 東・岩田、村・秋田

おつゆ (吸物) ソレヲおつゆニシテ飲ンダリヤ 東・鈴木

おとし (お櫃に最後まで残っている御飯。お櫃の横にくっついてい
る飯つぶ) 川・風岡

おはぎ (おはぎ) おはぎハアンモチトモイイマスケド 中・角田

おはち (御飯を入れておく入れ物。飯つぶのこともいう) 村・秋田、

川・風岡、北・高柳

おぶう (お茶) 村・秋田

おぼろこぶ (とろろ昆布) 西・山田

おみおつけ (味噌汁) 南・鬼藤、港・西川、東・岩田

みそおつけ (味噌汁) 白イゴハンニみそおつけデスワ 川・丹羽

かしわ (鶏肉)

ささみ (さしみにできる) 東・木内

すなぎも (かわきもともいう、悪い肉) 東・木内

てば (さしみにできる) 東・木内

かたパン (五厘パンとも。真黒で丸く平らで歯が折れんばかりに固い) かたパンノコト。クソパン、クソパンッテ言ッタワ 村・伊藤

かつおぶし (鰹節) 村・山森

かつぶし (鰹節) 東・木内、東・谷口

かつちんだま↓あめ (飴)

げんしゅ (原酒。濃い酒、樽で買い、それに水をわる) 東・木内

こむぎのこ (小麦粉) こむぎのこハ上等ナモンデスデ 東・鈴木、

熱・渡辺

こぬか (米ぬか) 港・高羽、東・岩田

こぶまき (昆布巻) 北・鈴木

ころ煮 (里芋をしょうゆと砂糖で煮ること) 村・秋田

さけのさかな (晩酌の時のおかず) 東・岩田、港・西川

しっぽく (かやくうどん) 東・木内

しっぽこ (味噌はん) しっぽこヲソナエテ、エットーゴクローサマ

ッテオマイリスルダワネ 西・桜井

すいり (料理の名) すいりッテダツイモノ莖ヲ塩デモンデ、甘酢ッ

パク煮ル料理ガアッタ 西・鈴木

ぞうすい (雑炊) 菜ッパヲ入レタリ、ニラヲ入レテタベル。ニラハ

シヨーユデ煎ル 日進・福岡 ↓おじや↓あぶらげぞうすい

ぞうぞ (うどんの幼児語) 川・風岡

たあま (卵の幼児語) 港・高羽

やしやー(野菜) 食ベタノハヤシャードスネ 東・鈴木
 やさいもん(野菜類) 守・樋口、村・秋田、中・小山
 葉牡丹ナンカ作ルトヨ、野菜モンデキンノ川・奥村

よもぎ(嫁菜) 東・岩田

さいり(さより、秋刀魚) 北・高柳

つぼ(田螺、たんぼにいた。節句に使う) 天・庭瀬

2、加工品

あげ(油揚) オ稻荷サンハアゲダワナモ 東・岩田、守・樋口、南・鬼

藤 ↓あぶらげ

あげずし(いなりずし) 東・岩田、熱・成瀬

あげもん(てんぷら) 東・岩田、西・山田、南・鬼藤

あさしよく(朝食) 中・前田

あさづけ(浅漬) アンマリツカリスギンノ 中・角田

あぶらげ(油揚) 北・鈴木、西・浅野

あぶらげずし(いなりずし) 東・谷口、村・秋田、西・浅野

あぶらげぞうすい(油揚の入った雑炊) 港・西川、熱・成瀬

あめ

おたひょうあめ(金太郎飴) 南・成田

おたよあめ(金太郎飴) 村・岩間

カッチンだま(ビー玉みたいな飴) カッチン玉ノオ祭り 東・水野

じゅろあめ(水飴) 村・山森

じろあめ(水飴) 中・角田

ピーヒャラあめ(オハチニ黄ザラノ蜂蜜ヲ固クシタヨナ飴ヲモ

ツテ、カゴノ中ヘソレヲ入レテイナツテキタ。笛ヲフイテク

ル) 村・伊藤

あんころもち・あんもち↓もち(餅)

いた(かまぼこ) イタドウデァート売リニキマシタワナモ 中・角田

いなざくら(稻桜、中村区稲葉地の地酒の銘柄) 地酒ハドブザケノ

イナザクラガアルワ。村・伊藤茂

いもこ(薩摩芋を粉にしたもの) イモコニシテ食ベタ 東・鈴木

ういろ(青柳ういろのこと、後に大須ういろも発売された。大正二

年生れの人曰く、白ういろ一本15銭、黒ういろ一本10銭也と)

昭・志水

うしんぼ(牛) ウシンボハアンマリ食ベンワ 東・谷口

うでまめ(茹豆) ウデマメハサケノサカナニシタリナモ、イタダキ

マス 中・角田

うどんのすし(御飯の代りにうどんを用いた寿司) 東・鈴木

うりづけ(瓜を塩づけしたもの) 中・角田

おかがみさま(鏡餅) 港・西川、川・安藤

おかがみさん(鏡餅) 東・高岡、西・山田

おかべ(豆腐) オカベトッテ売ンニミエタコトモアッタワナモ、オ

豆腐トユノカナモ、デモ焼き豆腐ノコトダッタワナモ 中・角田

おかめ(あんかけうどん) 東・木内

おから(豆腐のかす) 北・鈴木、中・角田

おこわい(赤飯) 川・風岡、東・岩田、中・小山

じねんじょ（自然薯、岩などのわれ目に育つうねうねした形の山芋のこと、転じて背の低い人のことをも言う）東・谷口

じゃくろ（ざくろ）東・岩田

しゃけ（鮭）東・岩田、港・高羽

すいか—おこんずいか、たねなし、すいか、こだまずいか。天・須賀

おこんずいか（中が黄色いすいか）天・須賀

こだまずいか（小玉西瓜）ユダマガ主ニキイナイネ。日進・福岡

すいか（中が赤いもの）天・須賀

ずいき（芋の柄のこと）西・桜井

せんごく（豆の一種）千・安井

せんごくまめ（おみそで食べる）村・秋田

そらまめ（空豆。とまめともいう）中・角田

だいこ（大根）村・秋田、中・小山、西・山田

でヤーこ（大根）東・加藤 　　でヤーこん（大根）守・樋口

だいず（大豆）中・角田

だつ（芋の茎）川・風岡、村・秋田 　　ハエトル芋ノダツヲトツテキテ

千・水野（里芋の茎）酢トオ砂糖デタベルワナモ 　　中・角田（ずいき）

ズイキハ新シイユトバ、ダツハ通ツタコトバ）大須、村・山森（ゼ

ンマイヲ入レテ煮タ）東・木内（赤イダツヤラ青イダツヤラソイツ

ヲ塩デヨーヤツテヨ）西・桜井

あかだつ（赤ずいき）アカダツトユーノハタベルル村・山森

アカダツヲオ産シタ時古血ノヨーサガルヨーニナ、スルメト一シ

ヨニ煮テクライヨツタワナ 　　天・須賀（塩もみして酢で食べる、干

して貯蔵してお産すると食べる）天・須賀

あおだつ（青ずいき）コワイノデタベルン 　　天・庭瀬

てんじく（天竺豆）↓まめ（豆）

とのきび（とうもろこし）トノキビツテユーヤツデスカ、アレモ食

イヨツタワネー 　　中・永井

とろろいも（山芋）村・秋田、守・樋口、中・小山

とんがらし（唐辛子）千・安井、東・岩田、東・谷口

売ツタルノガトンガラシ、ナットルノガナンバ 　　日進・福岡

とんがん（冬瓜）トンガン食ベタヨ 　　東・鈴木

なすび（茄子）東・谷口、岩田、村・秋田、守・樋口、中・小山、角田

なっぱ（菜、一般的にほうれん草のこと）北・間沢 ↓もちな

にいじん（人参）守・樋口、中・小山

ねずみうり↓うり（瓜）

ねぶか（ねぎ）村・秋田、山森、大須、東・岩田、中・小山、角田、守・

樋口スキ焼ヲ食ベタアト残ツタノハネブカト、コンニャク川・丹羽

ぼんまめ↓まめ（豆）

まくわうり↓うり（瓜）

まめ（豆）

てんじく（天竺豆。豆の一種）天・須賀

とまめ（空豆）塩ウデシテ食ベルヤツ、トマメダワ 　　村・伊藤茂

ぼんまめ（青豆）村・山森、大須

もちな（小松菜）中・永井

やさい（野菜）東・岩田

食物関係語彙

1、食品素材

「あおくびだいこん(青首大根、中村区稲葉地町の名産) 青首大根ハ

50 センチグリーダナー。村・伊藤茂

「あおだつ↓だつ

「あおとん(青唐辛子、ピーマン) 東・加藤、守・樋口、熱・成瀬

「あおも(野菜の総称) 守・樋口、熱・成瀬

「あかざ(草の名) アカザ食ベタリヤ、タンポポノ葉ヲオヒタシニシ

タリシタワネー 中・永井

「あかだつ↓だつ

「あずきまめ(小豆) 天・須賀

「うり(瓜)

「ねずみうり(匂いがよく、緑に青の濃い縦じまが入っている。へ

たが落ちると匂いがよく、ちょっとやわらかくなるまでおくと

おいしくなる。) 村・秋田

「まくわうり(青い瓜) 守・樋口、中・角田(メロンのこと) 中ハマ

ツキイデ、シマガアツテモ濃イ 村・山森

↓かりもり

「かぼちゃ(南瓜)

「ちりめんかぼちゃ(かぼちゃの一種) 日進・福岡

「とうきょうかぼちゃ(すべすべのかぼちゃ) 日進・福岡

「なんきんかぼちゃ(かぼちゃ) ワシハ小サイトキナンキンカボ

チャトイトツッタ 天・須田

「おこんずいか↓すいか

「かりもり(青瓜) (しまのついた瓜。みそづけにしたり、粕づけに

する。ぬかつけにはしない) 東・木内、日進・福岡、村・山森

「こうらい(とうもろこしの軸) 村・山森、大須

「こーりゃー(とうもろこし) 東・平野、西・桜井

「こぶ(昆布) 北・鈴木

「こめ(米) — こまい(古米。去年とれた米) 東・高岡

「ひねまい(去年とれた米) 東・高岡 しんまえ(新米) 東・高岡

「ごんぼ(午旁) 東・岩田・大橋、名・宮嶋、北・高柳、村・秋田、守・樋

口、中・小山

「ささぎ(豆の一種) 千・安井 (十六ささぎともいう) 村・秋田

「ささげ(豆の一種) 中・角田 (みそあえと、うでてしょうがだま

りで食べる。なすと煮たりじゃがいもとごっちゃん煮でやったりす

る。) 天・庭瀬

「さつみゃーも(さつまいも) サツミャーモノネー、ツルヲドカス

東・鈴木 cf. おさつ

「さとうきび(黍) サトーキビハオモチンナキヤーイレルヤツナモ

中・角田

「さとのき(砂糖黍) 村・山森・大須 コレクリャーバカニナニシトイ

テ、皮ムイトイテ、アマヤーンダワナモ、水ガデテネ 中・角田

「じいも(里芋) 村・秋田、中・小山、守・樋口、北・鈴木

西区山田町比良・浅野延道・82才

西区台所町3―6・鈴木松子・明39

(熱) 熱田区大瀬子町171・渡辺秀次郎・明32

熱田区神戸町35・神田信一・明38

熱田区神戸町34・浅見吉三郎・大1

熱田区波寄町・成瀬一・78才

熱田区旗屋町140・長井覚治・大1

熱田区旗屋町199・加藤鑑三・明35

熱田区白鳥町139・森部きく・明35

熱田区富江町65・東あづまのぶ・明45

熱田区富江町66・安井すず子・明44

(川) 中川区高畑町字郷203・坪井武由・明41

中川区荒子町4―173・久野みつ・明26

中川区荒子町大門西・安藤きん・82才

中川区富田町五番屋敷・風岡しづえ・71才

中川区高畑町94・奥村えい・明43

中川区下之一色・丹羽慶一・明35

(南) 南区新郊通1―6・成田信作・明37

南区呼続町・鬼藤ゆう・72才

南区戸部町1丁目・今枝和雄・78才

(港) 港区南陽町西福田・西川一保・71才

港区南陽町船頭場・高羽賢一・62才

(守) 守山区大永寺大字東島・酒井マツ・77才

守山区小幡中新田・樋口ちよ子・67才

守山区小幡・余語しゆ・大2

守山区小幡・河村とよ・明30

守山区小幡・川原ふじ江・大4

(天) 天白区平針・庭瀬式郎・大6 (52年度調査)

天白区平針・須賀ふみ・大6 (52年度調査)

天白区平針・村瀬勝良 (52年度調査)

(日進) 愛知郡日進町・福岡久子 (52年度調査)

六、本稿における記述の様式については、見出し(説明)・平仮名

書き 用例・カタカナ書き インフォームマンントの地区および氏名と

し、(説明)は原則としてインフォームマンントの説明および表現にもとづいた。

七、本稿の内容は食物関係の語彙とし、その内訳は 1、食品素材

2、加工品 3、食生活・食物文化一般 とした。

八、インフォームマンントの生活水準を限定しなかったため、用例には

多少の位相語(例えば上町うわまちことばのごとき)が混在することとなった。位相語については機会があれば稿を改めるつもりである。

以上

東区筒井町 2 | 14・平野重戸・大 1 (女)

東区芳野町 2 | 7・大橋えつ・明 36

東区芳野町 3 | 15・深沢・大 1 (女)

東区東芳野 2・田口一雄 (50年度調査)

東区堅代官町 12・伊藤春彦・明 38

東区泉町 3 | 1 | 23・水野つるえ・大 3

東区関鍛冶町・木内信太郎・大 3

(千) 千種区松軒町・宮地鈴吉・71才

千種区南明町・浅野柳・明 31 (女)

千種区山門町・加藤ゆみ・明 29

千種区山門町・汲田正夫・明 35

千種区高見町・西川照子・明 42

千種区菊坂町・城きぬ子・明 36

千種区菊坂町・水野しづ・大 3

千種区高見町・原田善明・大 1

千種区今池・横井イト・大 3

千種区豊年町・稲垣てる子・明 38

(名) 名東区松井・宮嶋照・明 40 (男)

名東区猪高町山ノ端・安井・72才 (女)

名東区猪高町猪子石原・吉川志つ・81才

(昭) 昭和区狭間町 23・志水釵・大 2 (女)

昭和区川名山町 93 | 24・山田寅治・明 35

昭和区御器所・石原源二・明 40

昭和区北山本町 1・水野勘七・明 35

(北) 北区東杉町 4 | 37・間沢矢吉・明 42

北区東杉町 4 | 37・間沢千代・大 4

北区述町・若林・明 32・(女)

北区喜惣治 1 丁目・高柳金松・73才

北区水切町 1 丁目・鈴木志げ・74才

北区大曾根・高木・明 34 (女)

(村) 中村区大宮 2 | 53・岩間保吉・大 2

中村区稲葉地町・岩間やえ子・大 7

中村区稲葉地町 3 | 44・飯田留二郎・明 43

中村区稲葉地町 5 | 16・伊藤茂・明 43

中村区稲葉地町 5 | 16・伊藤きよを・大 9

中村区椿町・秋田ヨネ・75才

中村区井深町・中田・64才

中村区日吉町・稲川忠雄 (50年度調査)

中村区・山森康充 (50年度調査)

中村区 (大須) 明 33 (50年度調査)

(中) 中区袋町 (錦 3)・角田みつ・明 34 (50年度調査)

中区七軒町 (宮町 5)・永井しめ子・明 43 (50年度調査)

中区小川町・小山ふじ・74才

中区千代田 3 丁目・前田安吉・69才

(西) 西区志摩町・山田愛子・62才

西区志摩町・桜井いの・明 42

名古屋市の生活語彙の記述的研究 資料篇その(一)

— 食物関係語彙 —

小 島 幸 枝

凡 例

一、本稿は、名古屋市在住者の生活語彙調査のうち、食物関係の語彙についての報告である。

二、調査は、昭和五十年五月から五十二年十二月にかけて、大正年間以前に生れた、はえぬきの、名古屋市住民男女を対象に行なった。

三、調査に携わったのは、筆者および筆者のもとで卒業論文を書いた以下の学生諸嬢である。

岩田賢子、鈴木昌子、戸谷由美（以上50年度卒業生）

赤堀加代子、秋田治美、大口久恵、奥香津子、宮田ゆかり。（以上52年度卒業生）

四、調査方法、調査は名古屋市街全区から調査者一人につき二乃至三区を担当することを原則としたが、インフォーマントの数については限定しなかった。話題を提供しながらことばを採集した。

五、インフォーマント一覧（年令を記せるものは昭50年度の調査当

時の年令、生年を記せるものは昭52年度調査のもの）（ ）中は地区略号。

（東）東区古出来町78・岩田藤七・80才

東区古出来町78・岩田りう・81才

東区西二葉町2丁目・長江・73才（男）

東区長久寺町24・高岡あや・72才

東区長久寺町・谷口甚子・（52年度調査）

東区手代町2―30・吉塚あや子・明42

東区手代町2―4・村瀬よそを・明24

東区車道6丁目・鈴木ひさの・明33

東区車道6丁目・加藤てる・明40

東区矢田町・水野はな・大1

東区矢田町・長谷川てい・明40

東区矢田町4―36・長谷川良一・明35

東区矢田町4―45・依田ひで・明44

東区矢田町・吉田芳（男）（52年度調査）